

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和3年6月24日 14:05～15:45

場 所：江津市立川波小学校

対 象：江津市立川波小学校6年生（12名）

指導者：鈴木七奈（埋蔵文化財調査センター）

小中薫教諭・山下基子教諭（川波小学校）

1. 主 題 埴輪作り

2. ねらい

○島根県や江津市の歴史を知ることを通して、地域の文化財や歴史への興味・関心を高めるとともに、ふるさとに対する誇りや愛情を持つ。

○埴輪作りを行うことにより、古代人の生活や物作りへの関心を高める。

3. 展 開

時刻	主な学習活動	指導者の支援・留意点	準備物
14:05 (5分)	1. 学習活動の見通しを持つ (6年生教室) ・GTの紹介 ・学習の流れをつかむ	・GTの紹介 ・埋文センターの仕事の内容・成果などについて簡潔に説明(埋C) ・学習の流れを掴むために、全体の流れを提示・説明する。(埋C)	スクリーン (TV) PC パワポ
14:10 (10分)	2. 学校周辺の遺跡について学ぶ (6年生教室) ・地域の歴史や遺跡についてプリントやパワポで説明する。	・身近にある遺跡の写真や出土品などの資料を見せながら、昔の江津市の様子を紹介する。(埋C)	プリント
14:20 (10分)	3. 埴輪について学ぶ ・写真(プリント)やパワポを用いて説明する。	・古代人の生活や物作りへの関心を高める(埋C)	
14:30	～休憩・準備～(10分)		
14:40 (45分)	4. 埴輪作りに挑戦する。 (6年生教室) ・パワーポイントやプリントによる説明で作り方を学び、埴輪を作る。 ・埴輪作りの間に出土品を見学。	・昔の人々が工夫や思いなどを取り入れた作品を紹介しながら、理解を深めるようにする。(埋C・T1・T2) ・遺物について大まかな説明をする。(埋C)	プリント 新聞紙 粘土用皿具 粘土板 遺物
15:25	・片付け		パネル
15:35 (10分)	5. 学習の振り返り	・学習した内容や楽しかったことなどを積極的に述べられるようにサポートする。	アンケート

4. 準備

○川波小

粘土板・スクリーン（TV）・PC・長机4台・新聞紙・清掃用具（雑巾・ほうき等）・水入れ

○児童

筆記用具・体操服（汚れてもよい服装）・水筒

○埋文センター

遺物・学習用プリント・埴輪の見本・埴輪用粘土・粘土芯・粘土ヘラ・伸ばし棒・施文具・

アンケート用紙・白布・カメラ